

報道関係者各位

2026 年 10 月 23 日

丸文株式会社

丸文、芝居小屋「日本橋座」の公演に今年も協賛 ～地元町会の一員として、日本橋の歴史と文化を伝える地域活動をサポート～

エレクトロニクス商社の丸文株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：堀越裕史、本社：東京都中央区、以下、丸文）は、本社を置く日本橋エリアの地域活性化および伝統文化振興への貢献の一環として、2026 年 9 月 27 日（日）に開催されたイベント『芝居小屋「日本橋座」公演』に協賛しましたことをお知らせいたします。あわせて、当日は地元町会の一員として当社社員が会場案内や設営などの運営サポートを行いました。

当日は天気にも恵まれ、『芝居小屋「日本橋座」公演』には昨年に引き続きたくさんの方が来場しました。同時に開催された日本橋十思市では、浴衣体験、昔のおもちゃ遊びといった江戸文化を体験できる 7 つのイベントが開催され、親子連れなどで賑わいました。

丸文は、昨年に引き続き本イベントへの協賛・協力を行うことで、地域社会との結びつきを深めるとともに、日本橋の歴史や伝統文化の継承に貢献してまいります。



「丸文」の社名入りのぼり旗

【協賛の背景と目的】

丸文は、持続可能な社会の実現に向けた重要課題（マテリアリティ）のキーテーマの一つとして「社会や地域への貢献活動を拡大する」を掲げています。本社を構える日本橋エリアは、豊かな歴史と伝統文化が息づく街であり、その魅力を次世代へ引き継ぎ、活気ある街づくりを支えることは、地域企業としての大切な役割であると考えております。

昨年に続き、本年も『芝居小屋「日本橋座」公演』への協賛を行うとともに、地元町会の一員としてイベントの運営サポートを行いました。単なる資金支援にとどまらず、地域コミュニティに根ざした活動を通じて、地域社会の一体感醸成に寄与してまいります。

【取り組みの概要】

1. 2年連続となる『芝居小屋「日本橋座」公演』への協賛

江戸の伝統文化や芸能を身近に体感できる『芝居小屋「日本橋座」公演』の趣旨に賛同し、昨年に引き続き協賛いたしました。会場周辺には「丸文」の社名が入ったのぼり旗が掲出され、地域の賑わいに花を添えました。

2. 地元町会の一員としての運営サポート

当日は当社社員が地元町会の一員として参加し、会場案内や設営などの運営をサポート。地域住民や近隣事業者の皆さまとともに、イベントの円滑な運営を支えました。

【イベント開催概要】

イベント名	芝居小屋「日本橋座」公演
開催日時	2026年9月27日（日）
開催場所	十思スクエア 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 5-1

【今後について】

丸文は今後も、今回のような伝統文化イベントへの協力などを通じて、地域社会に深く根ざした社会貢献活動を推進してまいります。

<丸文株式会社について>

本 社：東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1

設 立：1947 年

代 表 者：代表取締役社長 兼 最高経営責任者（CEO）堀越裕史

従 業 員：1,193 名（連結：2026 年 3 月 31 日現在）

資 本 金：62 億 1,450 万円

売 上 高：2,134 億円（2025 年度連結）

事業内容：半導体や電子部品、システム機器などの国内外の先端エレクトロニクス製品を販売する商社。
東京証券取引所プライム市場に上場。（コード：7537）

U R L：www.marubun.co.jp/

イベントへの協賛に関するお問い合わせ先

丸文株式会社 総務部 担当：林

TEL：03-3639-9801

E-mail：shisetsu@marubun.co.jp

このニュースリリースに関するお問い合わせ先

丸文株式会社 経営企画部 担当：酒井・熊谷

TEL：03-3639-3010 FAX：03-5644-7693

E-mail：koho@marubun.co.jp